



12回コンサート候補曲をレッスンにのせて

3月30日

□ 3月30日(金) 18:00~20:30 昇定例レッスンが開催されました。佃さんの体操と吉岡さんの滑舌の訓練・千秋さんのヴォイストレーニングのあと、今日は来年2月22日にいずみホールで昇12回コンサートを開催しようと、選曲・構成・企画等を技術部・運営委員会で検討を始めた今、コンサート候補曲の中から一つ一つ歌っていこうと、本並先生の指揮で、「春を待つ」「無縁坂」「航路」「百万本のバラ」「浜辺の歌」を新しい楽譜を見ながらレッスンしました。休憩・連絡報告をはさんで、引き続き、合唱発表曲「君死にたまふことなかれ」を1小節から37小節までをより完成度をあげて歌うように繰り返し繰り返し合唱しました。最後に、韓国の国民歌曲「朝露」を韓国語の歌詞の意味も確認しレッスンしました。ピアノ伴奏は西應静さん。参加者は全33名でした。



連絡・報告事項

(1) うたごえ運動70周年記念事業が2018年から2019年に取り組まれます。

「70周年記念大阪うたごえ祭典」2019年5月予定(2回公演)

・大阪うたごえ協議会で企画案が作成され検討が始まっています。

「全国うたごえ青年祭典」が2018年7月15日(日)高槻現代劇場中ホールで開催されます。

大阪のうたごえの歓迎演奏曲:「わが大地の歌」「町」(楽譜持って良い)

200人の舞台に立ち、全国から集まる青年たち・うたごえに参加する我らの息子や娘たちを歓迎し、大阪のうたごえの意気込みを見せましょう!

大阪南部地域での歌い手は40名、昇は少なくとも10名(紫金草メンバーを除いて)が歌うことが要請されています。関西紫金草合唱団は団として取り組んでいます。

レッスン日 6/3(北部)・6/10(大阪合同)・

4/27・5/25・6/22(紫金草合唱団・第3金曜日公開練習)

協賛金 500円・1000円の協力をお願いします。

(2) 「うたごえ運動 70年の歩み」の学習会のお知らせ

5月1日 梅デー後 13時～約1時間 グリーン会館 (予定)

講師 前全国協議会会長 高橋正志氏 (※「飲み物」でのどを潤します。)

高橋さんは『うたごえは生きる力 いのち 平和 たたかい うたごえ 70年のあゆみ』を刊行されました。(2018年2月初版)

(3) 西日本合唱講習会について

5月5日(土・祝) 広島にて 講師 高嶋先生(元淀工グリー) 「原爆許すまじ」「こわしてはいけない」 ・男声合唱あり 被爆地ツアー・被爆者の語り

(4) 「昴第8回団内コンサート」の開催(予定)について

8月26日(土)・27日(日)(予定)の合宿総会に合わせて、今年も「団内コンサート」を開催します。

26日(土)14:00～ねむかホールにて。開催案内は追って連絡します。担当:小西・大島・吉川・川妻

(参考資料) 「朝露」 歌詞/가사 (直訳)

きんぱ M ちせうご: 長い夜を徹して(明かして)

긴밤 지새우고 긴 밤: キンパム 長い夜 킨: 長い 팜: 夜

지새우고: 새세: 徹する 새우고세우고: 徹して、明かして 고고: ~して

ぷ R い M まだ めちん: 草葉ごとに宿り・結び

풀잎 마다 멧힌 풀잎: プルイ m(草葉) 마다: マダ 毎に(ごとに) 멧힌: メチン(結び・宿り)

ちんじゅ ぽだ と こうん: 真珠より綺麗な

진주 보다 더 고운 진주: チンジュ(真珠) 보다: ポダ (~より) 더: ト(もっと) 고운: コウン (きれいな) (코푸타: きれいな、美しい。코우요: きれいです きれいな)

あち M いす R ちよろ M: 朝露のように

아침이슬 처럼 아침이슬: アチミスル(朝露) 아침 아치 M(朝) 이슬 이슬(露)

처럼: チョロム (のように)

ねまめそるみ : 心の悲しみを

내맘의 설움이 내맘의: ネマ m エ(ネマメ) (心の) 설움이: ソロムイ・ソロミ(悲しみ)

あ R らり めち R って: 一粒一粒結んで(つないで)

알알이 맺힐때 알알이: アルアルイ(ア R ラリ) 一粒一粒 알(アル)粒(つぶ)錠剤

맺힐때 : 메챠 R ッテ(結んで・つないで)

아침 M とんさねお R ら : 朝 裏山へ上がり

아침 동산에 올라 아침 아치 M(朝) 동산에 (톤산 네테) : 裏山へ 동산 (톤산) 裏山
올라 (올라)(上がり) : 올다:上がる・登る

챠그ん 미そる R ぺうんだ : 小さな微笑みを学ぶ

작은 미소를 배운다. 작은(챠그ん) : 小さな 미소 (미소) : 微笑・ほほえみ 를 (르) 를
배운다.(페운다) : 学ぶのです。

てやんうん みよじういえ ぷ R け っとおるご : 太陽は墓地の上に赤く上り

태양은 묘지 위에 붉게 떠오르고 태양은 : 태양(테얀 : 太陽) 은(운) : 是
묘지 위에 : 묘지(미요지) 墓地 위에 (우이) : 上に
붉게 떠 : (플케트) 赤く 오르고 : (올고) 上がり

한나제 っちぬん とういぬん : 真昼の蒸し暑さは

한낮의 찌는 더위는 한낮의 (한나제 : 真昼의) 찌는(っちぬん : 蒸す?) 더위(투이 : 暑
さ) 는(누 : 是)

나에시리요니 R じら : わたしの試練なのか

나의 시련일지라. 버리고 나의(나에) : わたしの 시련(시리온 : 試練)
일지라.(일지라) : シリョニルジラ

나 이제 가노라, 저 거친 광야에. 나(나) : わたし 이제(이제) 今・すでに・もう

가노라(카노라) 行くのだ。(高麗末から発達した韓国固有の定型詩の中で意を強める韻として使う) 저
거친 광야에 저(초) : あの 거친(코친) : 荒れた 광야(코안야) 荒野 에(에) : へ

そろう M もどう ぽりご な 이제 가노라 : 悲しみをすべて捨てて、私は今行く(のだ)。

서러움 모두 버리고 나 이제 가노라.

서러움(소로우 M) : 悲しみを 서러 (서럽다 「悲しむ」 の名詞形) 모두(모두) : すべて・全部
버리고(보리고) 捨てて 고(고) : ~して

和訳(李政美/이정미版)

長い夜を暮らし草葉に宿る
真珠より美しい朝露のように



心に悲しみがみのるとき → 宿るとき
朝の丘に立ち微笑を学ぶ → 覚える

太陽は墓地の上に赤く昇り
真昼の暑さは私の試練か



私は行く、荒れ果てた荒野に
悲しみ振り捨て私は行く

(参考資料2)

日本語における鼻濁音の取り扱いをめぐって

甲南学園甲南小学校 田中安夫

「日本人が日本語の歌を美しく歌えなくなってどうする・・・？」

そんな危機感を抱かれる方がたくさんおられると思います。昨今のTVに登場する歌手たちはもちろん、歌以前にレポーターと称する若者の、いや、子どもたちに手引きをする教師やアナウンサー、司会者にいたるまで、日本語の美しい発音に関して、まるで無頓着？と首を傾げたくなるのが多々あり、嘆かわしい現状にあるのを認めざるを得ません。

学校現場にあって小学生に指導する前に、教師として弁えておきたいことを〈鼻濁音〉の扱いに関して整理してみたいと思います。というよりは、鼻濁音にならない場合について、その事例をいくつか挙げてみることにします。

①鼻濁音になるもの

- ・第2拍以下のガ行は原則として鼻濁音／感激・会合・会議・不思議
- ・助詞の「が」は鼻濁音／田中君がやってきた・誰がやったのかな
- ・連濁によるものは鼻濁音／氷⇒薄氷・神⇒守り神・貝⇒ほら貝

②鼻濁音にならないもの

- ・語頭にくるガ行は、そのまま濁音で発音／学校・劇場・合理的・月給・議題
- ・数字の「5・五」は原則として濁音／五十五・五百五十五
*例外として、数字の概念から離れたものは鼻濁音／八五郎
- ・擬態語、擬音語はガ行がそのまま／がくがく・げろげろ・ごろごろ・がんがん
- ・外来語はそのまま濁音／窓ガラス・キログラム
- ・丁寧の接頭語の「お」のあとは鼻濁音にならない／お元気・お行儀・お義理
- ・複合語は鼻濁音にならない／三井住友銀行

試しに、子どもたちに発音させてみる恰好の例は・・・〈銀河〉などが考えられます。

課題は、これらを十分理解した上で、自然に、歌の中で美しい日本語として発音・歌唱していくことにあるのですが、これすべて、母国語である日本語を慈しむ気持ちを育てることに繋がると確信します。さらに、これを契機として「無声音」や「摩擦音」の扱いにも発展していけば！と願っています。「無声音」に関しては、すでにその表記についても、いろいろな試みがなされていることに気づかせたいと思います。例えば、無声音はその言葉をカタカナにしておく（そして／おつきさん）、音符のタマの部分に×にするなど・・・。

また、子どもの楽譜に、鼻濁音の場合の濁点を○で、摩擦音は◇で囲む、サ行のSにはもう一つSを加えておくなど、自分流の工夫を競うのも楽しい学習かも知れません。

今一つ、外来語の氾濫する現在、その扱い・表記についても、国語審議会による「外来語の表記」に定められてはいますが、その中に触れられた〈ヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ・ヴォ〉に満足できず、中田喜直氏などは〈テレビジョン〉などと書かれた例があります。

これらを「ややこしいなあ」と思うか、楽しく学習の場に登場させるか・・・！ひとえに教師の力量と言うよりは「感性」を問われることになりそうに思うのですが・・・。

(寺脇さんから「鼻濁音」に関する貴重な資料をいただきました。田中先生は寺脇さんが所属される「阪神シニアカレッジうたごえの会」の指導者であり、また「六甲男声合唱団」の指揮者です。)